

社長の平均年齢は 61.5 歳、 過去最高を更新

社長交代率は過去 3 番目の低さ
高齢化に歯止めかからず

山梨県・「社長年齢」分析調査(2024 年)



本件照会先

岡田 哲也(支店長)
帝国データバンク
甲府支店
問合せ先:055-233-0241(直通)
e-mail:info.koufu@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/06/26

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

社長の平均年齢は、2024 年時点で 61.5 歳だった。社長の交代率が 3.07%と低迷するなか、34 年連続で過去最高を更新した。

団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となる「2025 年問題」が到来しており、「経営者の病気・死亡」による倒産も増加している。円滑な事業承継に向けて、早期に準備を進める必要性が一層高まっている。

※本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」(約 149 万社収録)から 2024 年 12 月時点における企業の社長データ(個人、非営利、公益法人等除く)を抽出し、集計・分析した

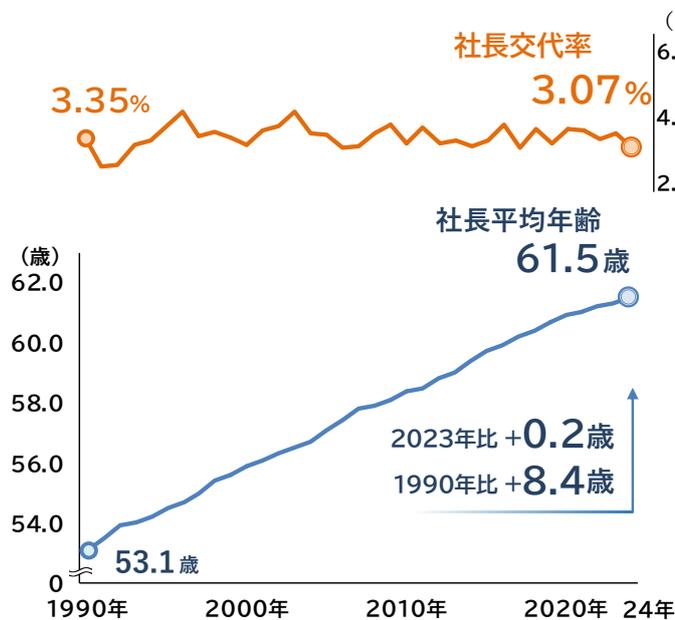
社長年齢は 61.5 歳、過去最高を更新

山梨県の社長平均年齢は、2024 年時点で前年(61.3 歳)を 0.2 歳上回る 61.5 歳となった。統計として遡れる 1990 年から毎年上昇が続いており、34 年連続で過去最高を更新。全国平均(60.7 歳)と比べても 0.8 歳上回っている。社長交代率は前年(3.49%)から 0.42pt 下降し 3.07%、過去 3 番目の低さ、全国(3.75%)でも 2 番目に低くなっている。

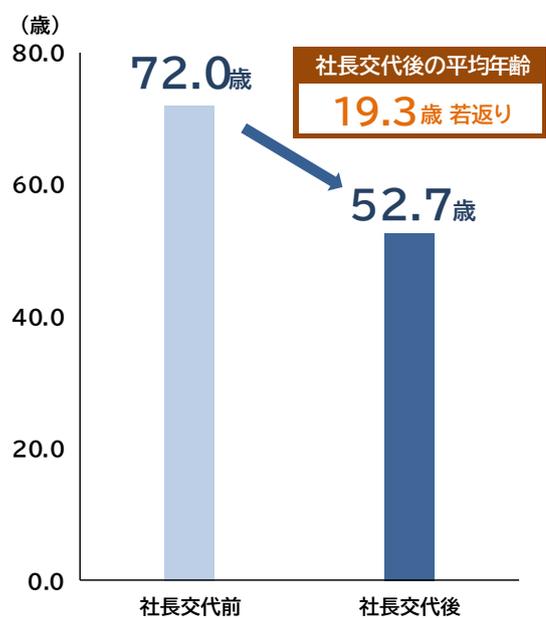
また、社長が交代する際の平均年齢は 72.0 歳、社長交代後の新社長の平均年齢は 52.7 歳で、社長交代によって平均 19.3 歳若返りがみられた。

社長平均年齢の推移

社長の平均年齢・社長交代率の推移



社長交代前後の平均年齢変化



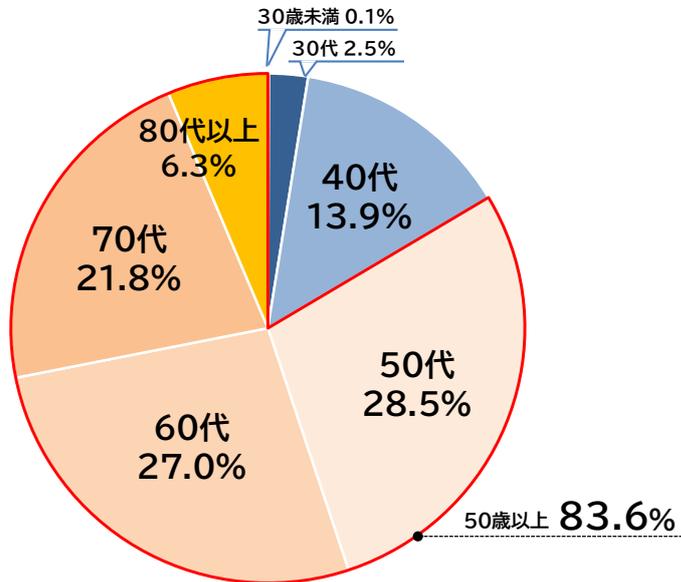
年代別構成比、「50 歳以上」は年々上昇し 83.6%に

2024 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が 83.6%を占めた。2024 年はいわゆる「団塊ジュニア」世代の多くが 50 歳を超える時期であり、7 年連続で 8 割を上回るなど上昇が続いた。前年(82.5%)と比べて 1.1pt 上昇しており、全国平均(81.7%)と比べても 1.9pt 上回った。また、「60 歳以上」の区分でも 55.1%と半数を超えている。

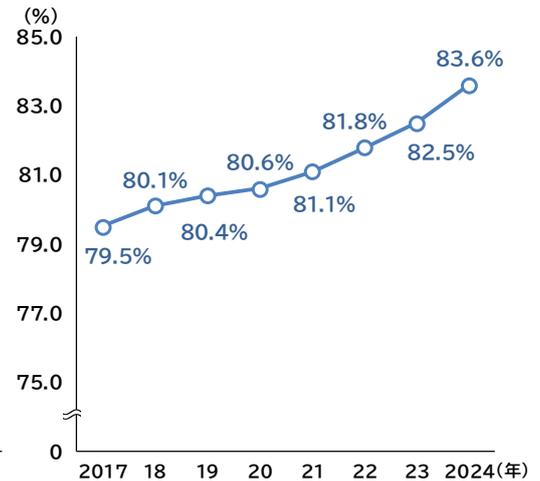
近年は、スタートアップなど新興企業を中心に若手経営者に注目が集まっているものの、「30 代」はわずか 2.5%、なかでも「30 歳未満」は 0.1%とごく少数に過ぎず、若手社長の割合は依然として低い水準にとどまっている。

社長の年齢区分(年代別)

社長の年代別構成比



社長が「50歳以上」の割合(各年推移)



業種別では、「不動産」が最も高い 65.4 歳

社長の平均年齢を業種別にみると、「不動産」が 65.4 歳で最も高くなった。次いで、「小売」(61.9 歳)や「運輸・通信」(61.8 歳)、「製造」(61.7 歳)と続き、この 4 業種が全体の平均年齢を上回った。

また、1995 年と比較すると「その他」を除く主要 7 業種全てで 6.0 歳以上の上昇となり、なかでも「不動産」は 9.7 歳上昇する結果となった。

社長平均年齢・業種別(年推移)

								(歳)	
	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2024	対95年比	
全体	54.5	55.9	57.1	58.4	59.7	60.9	61.5	+7.0	
建設	53.3	55.0	56.1	57.4	58.9	60.2	60.9	+7.6	
製造	55.3	56.7	58.0	59.2	60.5	61.4	61.7	+6.4	
卸売	54.4	55.3	57.3	58.6	59.9	60.8	61.2	+6.8	
小売	55.3	56.7	57.3	58.0	59.3	60.9	61.9	+6.6	
運輸・通信	55.1	56.9	57.3	58.6	60.4	61.1	61.8	+6.7	
サービス	53.3	55.7	56.6	57.6	58.8	60.5	61.0	+7.7	
不動産	55.7	58.0	59.9	61.8	63.5	64.8	65.4	+9.7	
その他	57.4	59.3	57.3	58.6	58.6	60.0	61.4	+4.0	

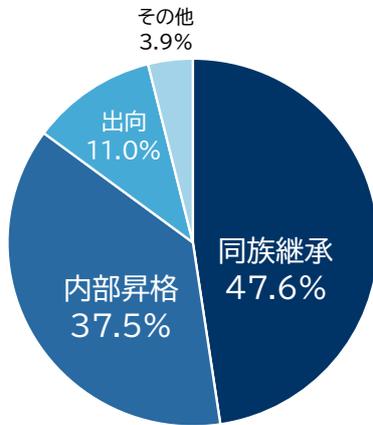
交代した社長の就任経緯、同族継承と内部昇格が多くを占める

交代した社長の就任経緯を分析すると、「同族継承」が 47.6% で最も高く、「内部昇格」が 10.1pt 差の 37.5% で続いた。「出向」は 11.0% だった。

就任経緯別に社長交代前後の平均年齢をみると、「同族継承」が交代前の平均年齢では 72.9 歳で最も高く、「出向」が 64.3 歳で最も低かった。交代後では「出向」が 59.7 歳で最も高く、「同族継承」が 47.4 歳で最も低かった。交代前と交代後の年齢差をみると、「同族継承」が 25.5 歳で最も若返りが大きい。

社長交代企業・就任経緯別分析

就任経緯別



就任経緯別・社長交代における前後の平均年齢

就任経緯	平均年齢		年齢差
	交代前	交代後	
同族継承	72.9	47.4	25.5
内部昇格	69.5	55.6	13.9
出向	64.3	59.7	4.6
その他	68.5	51.5	17.0
全体	72.0	52.7	19.3

※「全体」は2024年の社長交代企業を指す

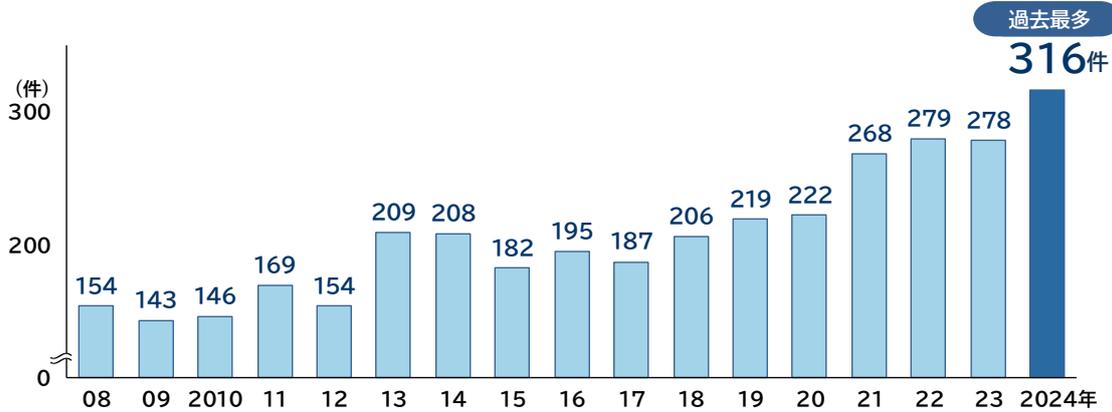
高まる「社長の高齢リスク」、事業承継への早期着手が焦点

山梨県における社長の平均年齢は 61.5 歳となり、過去最高を更新した。社長が「50 歳以上」である企業の割合は引き続き 8 割を超えるなど、「社長の高齢化」が一層深刻になっている。社長交代率が低水準にとどまるなかで、今後も社長の平均年齢は上昇し続けるだろう。

2019 年、中小企業庁は「2025 年までに 70 歳を超える中小企業・小規模事業者の経営者は約 245 万人となり、うち約半数の 127 万人が後継者未定」との試算を発表しているが、鈍化する社長交代率を背景に平均年齢の上昇に歯止めがかからない。今後は事業承継が進まずに事業継続を断念せざるを得ないケースがさらに増加する可能性がある。

こうした結果の一つとして、「経営者の病気・死亡」による倒産が全国で増加している。2024 年には 316 件判明し、過去最多を記録した。社長が高齢になれば「不測の事態」が生じる可能性は高まり、企業経営にも重大な影響を及ぼしかねない。社長の高齢リスクが高まるなか、十分な期間を設けた事業承継の実施に向け周到な準備が求められる。

「経営者の病気・死亡」による倒産の件数(年推移)

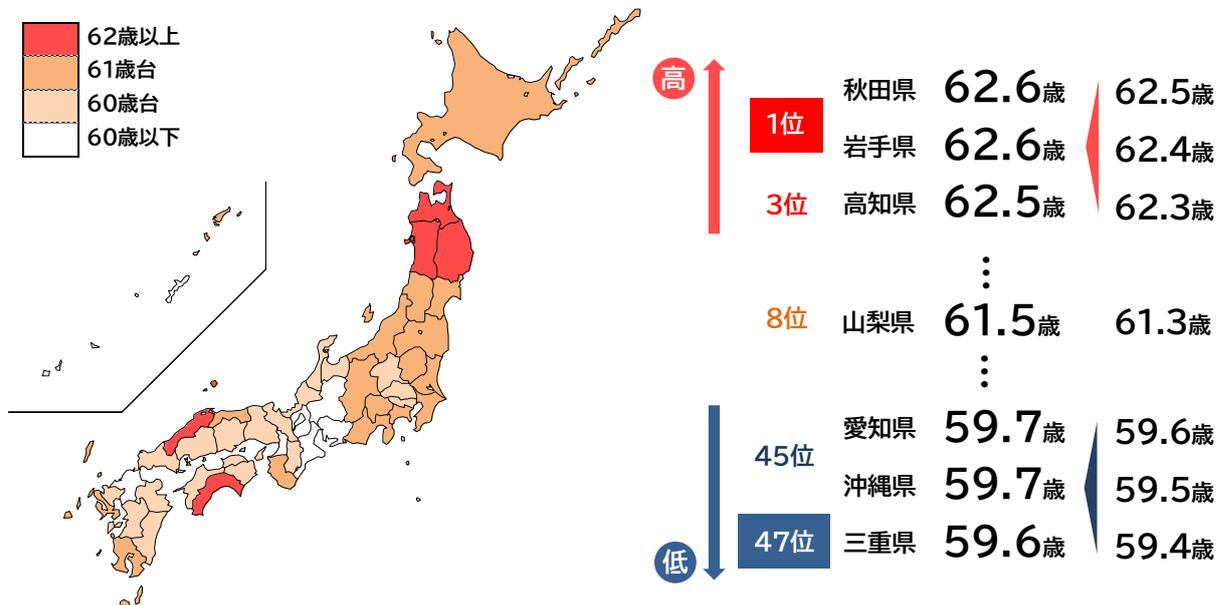


〈参考〉都道府県別、秋田県と岩手県が62.6歳でトップ

都道府県別にみると、秋田県(2023年比+0.1歳)と岩手県(同+0.2歳)が62.6歳で最も高かった。岩手県は、5年ぶりのトップとなった。次いで、高知県(62.5歳、同+0.2歳)、青森県(62.3歳、同+0.1歳)が続き、山梨県(61.5歳、同+0.2歳)は8位だった。

一方、最も低かったのは三重県の59.6歳(同+0.2歳)で、8年連続で最も低かった。その他、愛知県や沖縄県(いずれも59.7歳)など、60歳を下回ったのは7府県だった。総じて、都道府県別の社長平均年齢は「東高西低」の傾向が強い。なお、47都道府県のなかで社長平均年齢が前年から低下したのは、熊本県(60.1歳、同-0.1歳)と大分県(60.3歳、同-0.1歳)の2県のみだった。また、横ばいは3県となっている。

社長の平均年齢 都道府県別



＜参考＞社長の平均年齢推移 ～ 都道府県別～

都道府県	2023年		2024年		都道府県	2023年		2024年		都道府県	2023年		2024年	
	平均年齢	順位	平均年齢	順位		平均年齢	順位	平均年齢	順位		平均年齢	順位	平均年齢	順位
全国	60.5	—	60.7	—	長野県	61.4	7	61.6	6	島根県	61.8	5	62.0	5
北海道	61.4	7	61.5	8	新潟県	61.5	6	61.6	6	岡山県	60.0	38	60.2	36
青森県	62.2	4	62.3	4	富山県	60.7	24	60.8	25	広島県	60.6	25	60.7	28
岩手県	62.4	2	62.6	1	石川県	59.8	40	60.0	40	山口県	60.6	25	60.7	28
宮城県	61.1	16	61.2	16	福井県	60.5	30	60.7	28	徳島県	60.6	25	60.9	22
秋田県	62.5	1	62.6	1	岐阜県	59.7	42	59.8	42	香川県	60.3	35	60.4	34
山形県	61.3	10	61.3	14	静岡県	61.1	16	61.3	14	愛媛県	60.6	25	60.7	28
福島県	61.3	10	61.5	8	愛知県	59.6	44	59.7	45	高知県	62.3	3	62.5	3
茨城県	61.3	10	61.4	13	三重県	59.4	47	59.6	47	福岡県	59.8	40	59.9	41
栃木県	60.9	20	61.1	19	滋賀県	59.6	44	59.8	42	佐賀県	60.5	30	60.5	32
群馬県	60.8	22	60.9	22	京都府	60.5	30	60.8	25	長崎県	61.4	7	61.5	8
埼玉県	60.8	22	60.9	22	大阪府	59.7	42	59.8	42	熊本県	60.2	36	60.1	38
千葉県	61.0	18	61.2	16	兵庫県	60.4	33	60.5	32	大分県	60.4	33	60.3	35
東京都	60.0	38	60.1	38	奈良県	60.6	25	60.8	25	宮崎県	60.2	36	60.2	36
神奈川県	61.2	15	61.2	16	和歌山県	61.3	10	61.5	8	鹿児島県	60.9	20	61.0	21
山梨県	61.3	10	61.5	8	鳥取県	61.0	18	61.1	19	沖縄県	59.5	46	59.7	45